



天王寺高校界限散策日記（表面の説明）

令和2年2月29日（土曜日）の午後、仕事も暇だし懐かしの母校の散策でも行くかい？と、後輩と先輩が同一人物の家内（私が先に入学し、もたもたしている間に彼女が先に卒業したので）を誘ったところ、『じゃ、行きましょう』と言うことになって、数十年ぶりの母校見学となった次第です。

まずは、環状線で天王寺駅から阪和線に乗り換え、美章園駅へ。

①の美章園駅を下車、早速『チャンス』なる喫茶店を発見。まだありました。学生時代に良くお世話になった方もおられるのではないのでしょうか。（私も不謹慎ながら授業をサボって行きましたが、時効ですね）そこから美章園商店街を北へ移動。私が学生（22期）であった頃は、商店街入って右へ曲がった所に『美章園温泉』なる銭湯が有って、しかも夕方3時から入浴が出来たので良く利用させてもらいましたが、既に無くなっていました。無念！②北へ移動=当時良く食事をした中華食堂の『永楽』を発見、何か嬉しい。この辺はまだ当時の面影がわずかながら残っていました。③また北へ移動=美章園駅と双壁をなす通学路線の近鉄南大阪線『河堀口』駅は高架になっていて不思議な感じです。踏切が有った頃は環状線の寺田町駅から来られる生徒さんが無謀にも踏切の遮断機を掻い潜って来るのが普通？だったので今から考えたら恐ろしいことしてたんやなと思う次第。（これも時効ね）

④へ移動=文の里中学の金網の柵に『夜間中学生募集』の案内が付けて有りました。この夜間中学を卒業して天王寺高校定時制に来られた方も大勢おられる様です。今でも存在しているのはすごいことだなと。

⑤西へ少し、南へ少し歩いてまた西へ=旧校舎の通用門のところ。私たちの時代はこの通用門の向かいに『くるみ』というお好み焼き屋さん、『ホーム食堂』という飯屋さんが有りましたが、特に『くるみ』さんのお好み焼き屋なのに『卵うどん』は最高でしたね。今はもう道だけになっています。一抹の寂しさを感じる次第。⑥旧校舎の正門です。今は柵に覆われています。⑦現在の通用門です。学生さんが部活なのか、テニスの個人練習をしていました。さてさて、次は絶対に見たかったところ。⑧我が天王寺高校定時制課程の記念碑です。正直なところどこにあるのか判りませんでした。金網の堀の中に。。とにかく写真を撮ろうと狭い金網の中へスマホを入れようとしたのですが、なかなか網が邪魔をして良い写真が取れそうにない、折角来たのと思ってたところ、校内にいた女子高校生の方の一人がこちらの方に来て『写真撮りましょうか？』と、申し出てくれたのでお願いしたところ記念碑の前、横、後ろと撮って頂いて、さすが天高生、以心伝心やなと、彼女曰く『何の記念碑だろう？』と聞いていました』と、それで天王寺高校は数年前まで夜間高校（定時制課程）が有って、私たちはそのOBです、と説明したところ、『そうゆう課程があったんですね』と感心しきりでした。良い体験をさせてもらいました。実に親切で爽やかな学生さんに感謝です。ありがとう。※因みに記念碑の『紅萌』の文字は紅萌会元会長（現幹事）『中村俊之』氏の揮毫です。

⑨記念碑を後ろに東へ、そして北へ=現在の天王寺高校の正門です。旧校舎のプールが有った南側になります。当時は暗くて良く痴漢が出没したらしく、『痴漢道路』と言われた事もある道です。ざっくりと現在の天王寺高校を一周してまいりました。実感として昔の面影は有りませんでした。天王寺高校の座右の銘『質実剛健』は今も残っていると思う次第。昼であれ、夜であれ、この学校を卒業したという現実間違いの無い事ですので、新たな誇りを胸に抱いて帰路につきました。（山本）22期



JR 美章園駅

校歌

おもえは遠し 桃陰の
花咲きかおる その日より
明るくひろく 文化の園生
とわにかわらぬ心のふるさと
仰げ若人 ああ 天王寺

あふれてやまぬ 城雨の
いずみの水は あめつちに
ひろがりしめる 真実といひ智
不朽をはこぶ われらが校風
讀えよ若人 ああ 天王寺

まゆをあぐれば なかぞらに
むらさきはゆる 生駒山
希望は高く 世界の風に
校旗はためく われらがまなびや
謳え若人 ああ 天王寺

黄塵はるか

黄塵はるか隔てたる
ここ城南の別天地
紅萌ゆる桃陰の
学びの園の露うけて
いそしむ我等若人の
胸は希望に充つる哉

見よ剛健の校風を
聞け前進の足音を
白雲なびく生駒山
理想の空を仰ぎつつ
久遠の岸を日ぞすすとき
我等の意気の高き哉

ああ天高の若人よ
若き血汐に燃ゆる時
自由の翼は誰か
天地広しと誰か
いざ踏み出せん我が宇宙
いざや示さん我が校風



校門



校門（旧プール跡南側から）

<https://www.kohoukai.info> ←(紅萌会 HP の URL です)

紅萌会 HP について。

紅萌会 HP を 2020 年 5 月 5 日（こどもの日）に公開致します。

PC、モバイル、 아이폰、スマートフォン等で閲覧できます。紅萌会会報も 43 号から、PDF にてダウンロード出来るように、また同期会の情報や、会員のよもやま話、実生活のお役立ち情報や写真等もアップしながら、会員相互の親睦を深める意味においてのツールとしてご利用して頂けたらありがたいです。

現在すでに、ブログや Line 等の SNS で仲間同士の情報交換をされている方々も多数おられると思いますので、可能であれば是非とも相互リンクして頂き、地方におられる会員の方々とも情報交換とかしていきたくと思っています。近い将来 1 期の方から、54 期の方までの同期会個々のリンク & サイトを作りたいなとも思っていますが、いきなりは無理が有りますので徐々にグレードアップして行きたいと考えています。

それと紅萌会の会員の方で、会社、店舗等を経営されておられる方をお願いです。限られた予算の中でやりくりしております紅萌会ですので、会社、店舗等の宣伝の為のリンクもお願いいたします。

販売品目や、お店の宣伝、また紅萌会会員特別割引?とかの会員の特権も付加して頂いて（勝手な希望ですが）相互互助の精神でよろしく願います。（1リンク年間=3,000 円の寄付をお願い。個人は無料です）

これは私の個人的な思いなのですが、同期会員同士の横の繋がりは普通に存



在していますが、縦の繋がりがどうしても弱いと思うのです。先輩方の永年培われた知恵、若者の現代社会への対応など、お互いの得意分野で相互理解する材料がこの身近にある紅萌会という媒体で垣根がとり払えたらなと、まさに（古きを温ねて新しきを知る『温故知新』）を利用する絶好の集い、この同窓会『紅萌会総会』に是非参加してください。

meil: ob-kai@kohoukai.info
メールでのお問い合わせは上記アドレス（広報迄）